

平成26年3月期 第2四半期連結決算説明資料

平成25年9月30日

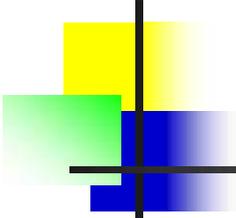
(決算発表日:平成25年11月8日)

 **和弘食品株式会社**

2013年11月8日



証券コード 2813



平成26年3月期 第2四半期連結決算の総括

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替の円安などから、大手輸出企業を中心に企業収益が改善し、株価も回復基調で雇用情勢が幾分持ち直したこともあり景気は比較的堅調に推移いたしました。

食品業界では、為替の円安や相場の高騰により、輸入原材料や燃料などが値上がりしたため一部の商品で値上げが行われました。しかし、外食、中食業界では、多くの企業が消費者の節約志向による客離れを懸念して値上げに慎重にならざるを得ず厳しい環境が続きました。

そうした状況のもと、当社グループでは、営業部門で、外食、中食向けの業務用調味料の拡販を図るため、営業開発部を設置し、新規開拓に力を入れるとともに、各営業支店が業務用卸企業との取り組みを強化すべく各種展示会などへ積極的に参加し、業務用製品をアピールいたしました。また、インターネット上の集客サイト「ラーメンスープ・タレ.com」の内容の充実を図り、ラーメン業界向けの業務用製品の拡販に注力いたしました。

商品開発部門では、営業スタッフとの同行によるスピーディーで的確な商品開発を積極的に行いました。また、純植物性の豚骨風ラーメンスープ、イカゴロのたれなど他社に無い高付加価値差別化商品の開発に力を入れるとともに、業務用ラーメンスープに付随して販売する業務用ガラスープなどの開発にも積極的に取り組んでまいりました。

生産部門では、引き続き、カイゼン活動のレベルアップ、商品開発部門との連携によるコスト低減に向けた取り組みを行うとともに、原材料などのコスト上昇を抑制すべく、購買業務の見直しを図ってまいりました。

米国子会社におきましては、現地生産に向けた準備を進めつつ、日本国内からの輸出商品の販売を推進すべく、営業活動に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、外食、中食市場向けの業務用製品の販売が堅調に推移したことなどから2,857百万円(前年同四半期比3.4%増)となりました。また、利益につきましては、営業利益102百万円(前年同四半期は営業利益1百万円)、経常利益は為替差益などが加わり140百万円(前年同四半期比962.4%増)、四半期純利益は91百万円(前年同四半期は四半期純利益0百万円)となりました。

第2四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
(資産の部)		
流動資産		
1.現金及び預金	1,012,662	1,200,141
2.受取手形及び売掛金	933,455	948,961
3.有価証券	187,358	226,604
4.たな卸資産	417,716	395,989
5.その他	402,511	64,333
貸倒引当金	198	258
流動資産合計	2,953,505	2,835,773
固定資産		
1.有形固定資産		
(1)建物及び構築物	1,369,440	1,363,573
(2)機械装置及び運搬具	276,316	267,690
(3)土地	721,482	724,972
(4)建設仮勘定	-	108,546
(5)その他	207,612	235,399
有形固定資産合計	2,574,852	2,700,181
2.無形固定資産	32,488	31,015
3.投資その他の資産	301,944	212,797
固定資産合計	2,909,285	2,943,993
繰延資産	68,774	91,237
資産合計	5,931,566	5,871,005

第2四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
(負債の部)		
流動負債		
1.支払手形及び買掛金	633,130	537,111
2.一年内返済予定長期借入	100,000	100,000
3.未払法人税等	52,917	83,414
4.賞与引当金	91,000	88,000
5.その他	306,755	317,038
流動負債合計	1,183,803	1,125,565
固定負債		
1.長期借入金	400,000	350,000
2.役員退職慰労引当金	112,130	111,667
3.その他	144,084	155,777
固定負債合計	656,215	617,444
負債合計	1,840,018	1,743,009

第2四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
(純資産の部)		
株主資本		
1.資本金	1,413,796	1,413,796
2.資本剰余金	1,376,644	1,376,644
3.利益剰余金	1,472,284	1,522,464
4.自己株式	232,315	232,349
株主資本合計	4,030,410	4,080,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,115	5,620
為替換算調整勘定	31,020	41,819
その他の包括利益累計額合計	61,136	47,439
純資産合計	4,091,546	4,127,995
負債純資産合計	5,931,564	5,871,005

第2四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,764,544	2,857,645
売上原価	2,138,548	2,138,749
売上総利益	625,996	718,895
販売費及び一般管理費	624,003	616,442
営業利益	1,992	102,452
営業外収益	13,611	48,242
営業外費用	2,366	10,065
経常利益	13,237	140,629
特別利益	155	30,946
特別損失	316	295
税金等調整前四半期純利益	13,076	171,280
法人税、住民税及び事業税	13,451	78,097
法人税等調整額	1,168	2,059
少数株主損益調整前四半期純利益	792	91,124
四半期純利益	792	91,124

第2四半期連結包括利益計算書

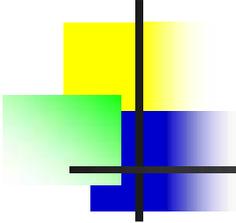
(単位:千円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	792	91,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,380	24,495
為替換算調整勘定	791	10,799
その他の包括利益合計	3,171	13,696
四半期包括利益	2,378	77,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,378	77,427
少数株主に係る四半期包括利益		

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,073	190,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	885,722	156,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,959	120,060
現金及び現金同等物に係る換算差額	791	3,491
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	954,546	82,212
現金及び現金同等物の期首残高	1,734,029	1,504,060
現金及び現金同等物の四半期末残高	779,482	1,421,847



財政状態の分析

資産、負債、純資産の状況に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,835百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の増加187百万円とその他の減少338百万円等によるものであります。固定資産は2,943百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加125百万円と投資その他の資産の減少89百万円等によるものであります。繰延資産は91百万円となり前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。

その結果、総資産は5,871百万円となり、前連結会計年度末に比べ60百万円減少いたしました。

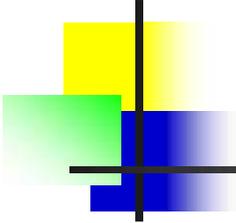
(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少96百万円と未払法人税等の増加30百万円等によるものであります。固定負債は617百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少50百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は1,743百万円となり前連結会計年度末に比べ97百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,127百万円となり、前連結会計年度末に比べ36百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加50百万円等によるものであります。



財政状態の分析

キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「現金」という。)は、前連結会計年度末に比べ82百万円減少し1,421百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は190百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ198百万円増加)となりました。これは主に減価償却費の112百万円と未払消費税等の増加53百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は156百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ729百万円支出減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出210百万円と投資価証券の売却による収入78百万円によるものであります。

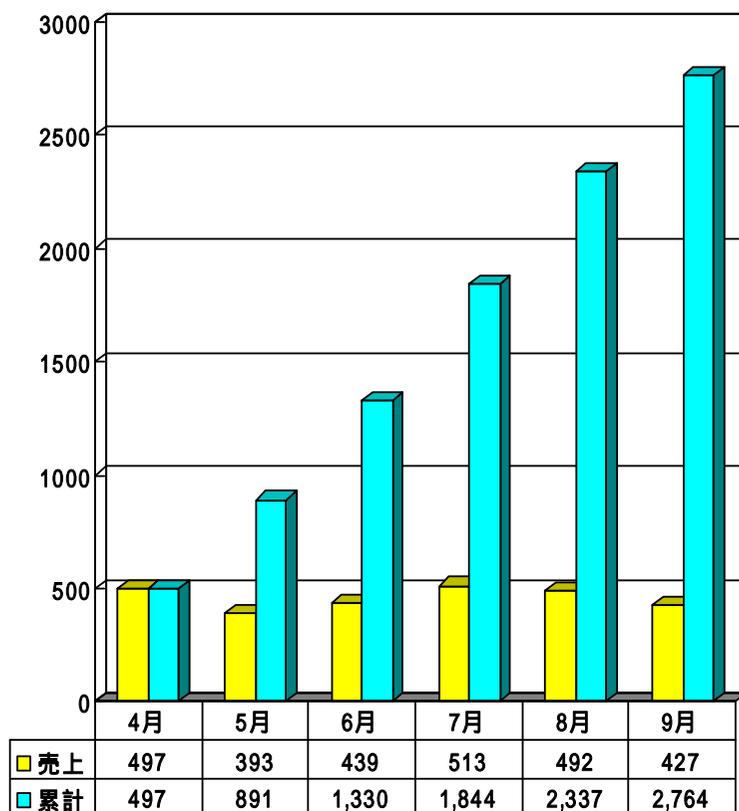
(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は120百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ60百万円支出増加)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出50百万円等によるものであります。

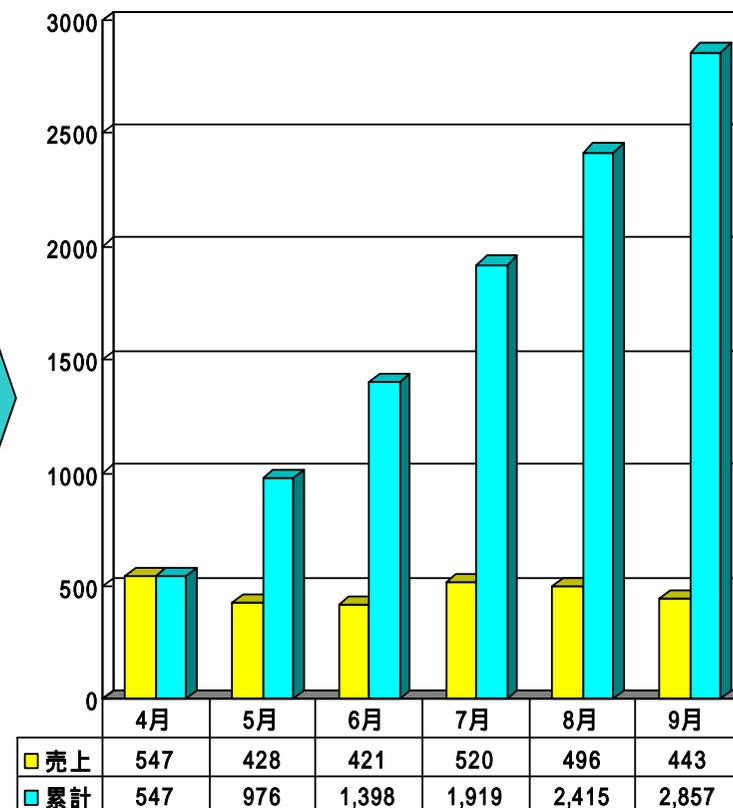
売上の推移

(単位:百万円)

前第2四半期連結累計期間
平成24年4月～9月



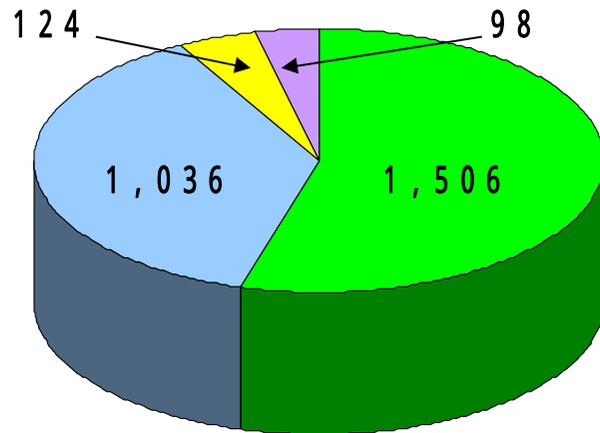
当第2四半期連結累計期間
平成25年4月～9月



売上高構成比の比較

前第2四半期連結累計期間
平成24年4月～9月

(単位:百万円)

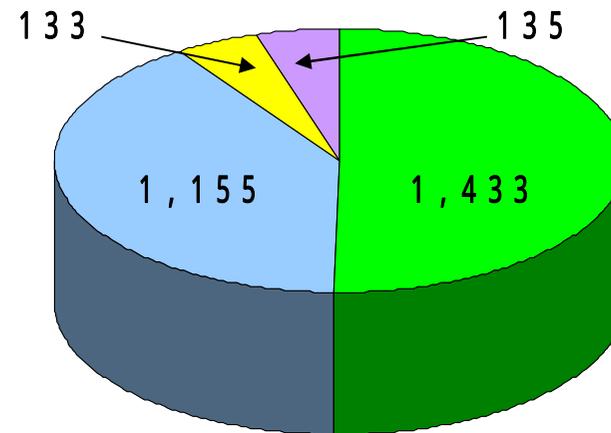


【合計】 2,764

- 別添用54.5%
- 業務用37.5%
- 天然エキス4.5%
- メンマ・かきあげ等その他 3.5%

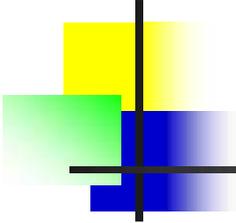
当第2四半期連結累計期間
平成25年4月～9月

(単位:百万円)



【合計】 2,857

- 別添用50.2%
- 業務用40.4%
- 天然エキス4.7%
- メンマ・かきあげ等その他 4.7%

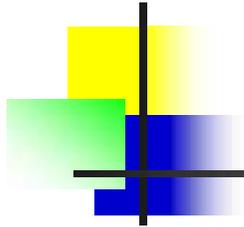


平成26年3月期の通期連結業績予想

(単位:百万円)

区 分	前期(実績)	今期(予想)	対前期 増減率(%)	備 考
売上高	5,518	5,948	7.8	
営業利益	131	183	39.9	
経常利益	172	172	0.2	
当期純利益	87	100	14.1	

(注) 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



本資料に関するお問合せ

WS 和弘食品株式会社

広報・IR室

TEL: 0134 - 62 - 0505

E-mail: IR@wakoushokuhin.co.jp